

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 角田 義行
 〒378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

エージェンシーを発揮したウェルビーイングな学校へ

利根教育事務所長 角田 義行

「次の県教育振興基本計画のキーワードは、『ウェルビーイングとエージェンシー』です。具体的にどのようなことをしていくのか、ご自身の言葉で語れるようにしてください。」と2月の教育委員会訪問で管理職の方をお願いをしましたが、各学校では話題にあがったでしょうか。

年度始めの事務所内の挨拶では、「学校におけるウェルビーイングな状態は、なんとも言えない温かみのある雰囲気…子どもたちの声、教育活動の様々な音や雰囲気、そして環境整備に現れるのではないのでしょうか。また、児童生徒がエージェンシーを発揮している姿は、授業中の前のめりの意欲的な姿ではないのでしょうか。そんな様子を学校に伝えていきましょう。」という話をしました。その後、事務所では「あの会議、なんか雰囲気がよくてウェルビーイングな状態だったよね。」「あの発言は、エージェンシーを発揮していたね。」という言葉が飛び交うようになりました。馴染みがなかった言葉が、職員の中に落ち、大きなベクトルが合ったような気がしています。

本教育振興基本計画は、教育ビジョンとして3月に正式に示されました。4月の管内合同研究協議会の際に、教育ビジョンを具現化するために、各学校のよさや課題を教育ビジョンや学校教育目標に沿って「分析」してくださいという話をしました。目標とするウェルビーイングな学校やエージェンシーを発揮している児童生徒の姿と、現状を比較し自校の強みを価値付けたり、よさや課題を全職員で共有したりすることにより、ベクトルの向きが合います。

県教委では、教育ビジョンを具現化してもらうために、ポイントを示した2種類のリーフレットを配布しました。そこには、『自律した学習者』や『自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す』といった実践上のキーワードが示されています。目新しいことではなく、これまでも各学校で大事にしてきたことではないのでしょうか。とりわけ、私は、特別活動の視点（人間関係形成、社会参画、自己実現）と、生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）とのかかわりを深く強く感じます。私自身も、児童生徒のよさや可能性を伸ばすには、特別活動と生徒指導を両輪とすることが大事だと思い指導・支援をしてきました。各学校においても、これまで大事にしてきた教育活動を基に、教育ビジョンの具現化が図れるのではないのでしょうか。

実は、校歌の歌詞の中に『ウェルビーイングやエージェンシー』のヒントがあふれています。校歌は、多くの方が知っているのですが、保護者や地域の方を含めたみんなのベクトルの向きを合わせることができると思います。

私が考える具現化のポイントは、ベクトル合わせと、より具体的な子ども姿と活動です。各学校がエージェンシーを発揮することにより、利根沼田全体のエージェンシーが高まるとともにウェルビーイングな状態になると思います。これを機に利根沼田地域が、教育ビジョンの具現化の発信点の一つになることを期待します。

今求められる、学校の教育活動における視点 <令和6年度指定・委託事業等>

指定期間・指定先	主 な 事 業	学 校
R6 文部科学省	道徳教育総合支援事業	古馬牧小学校
R6 文部科学省 R5～R7	発達障害のある児童生徒等に対する支援事業「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」	沼田中学校
R6 県教育委員会 R5～R7	各教科等授業改善プロジェクト授業改善推進校 (R6は算数・数学)	新治小学校 みなかみ中学校
R6 県教育委員会 R5～R7	非認知能力育成に向けたモデル校による実践研究	川場小学校 川場中学校
R6 県教育委員会	ぐんまの子どもの体力向上推進事業	薄根小学校
R5～R6 県教育委員会	「チーム学校」に関わる事務職員特配	みなかみ中学校

指定校の皆さんには大変お世話になります。今年度から群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）の取組が始まりますので、昨年度から継続して実践していただいている2つの指定校の進捗状況とともに、取組のポイントを紹介します。

指導主事



令和6年度、ここがポイント！！

群馬県教育ビジョンの最上位目標のキーワード（「ウェルビーイング」、「エージェンシー」）

ウェルビーイングとは・・・

- 自分もみんなも幸せや生きがいを感じられること。
身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。

例えば・・・

学校や地域がみんな大好き！

温かくて居心地がいいなあ・・・

ここがポイント！

- 子どものウェルビーイングは、学校・家庭・地域のそれぞれのウェルビーイングと互いにかかわり合っていることを踏まえ、教職員が働きがいを実感し、家庭や地域と連携・協働しながら学校教育目標の達成を目指した学校づくりに努めましょう。
- 学校運営協議会などで、教職員と地域の方が互いの思いや願いを話し合い、共通理解を図ることも大切です。

エージェンシーとは・・・

- 課題を自分事化し、自分で考え、自分で判断し、自分で動き出そうとする意志の強さ。

例えば・・・

より良い学校にしたいなあ



図書室を利用する子が少ないな。もっと多くの人に利用してほしいな。

利用しやすい図書室になる方法を図書委員会で話し合っ、代表委員会に提案してみよう。



ここがポイント！

- 自分で課題を見付け、**試行錯誤**しながら最終的に**自己決定**していく場面を設定しましょう。
- 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深めるような**対話や交流**の場面を設定しましょう。
- 各教科等の授業において、**児童生徒がエージェンシーを発揮している姿を具体化**していきましょう。

非認知能力育成に向けたモデル校による実践研究

R5（1年目）の主な取組

- 指定校連絡協議会での情報交換と先進校視察
- 川場小中連絡会議・研修会の実施（「非認知能力育成だより」の発行）
- 小中合同運動会の実施
- 非認知能力を3つの視点から整理

じっくり

ぐんぐん

にこにこ



R6（2年目）の主な取組

- 小・中学校で校内研修の主題・副主題を統一し、授業実践を進める。
- 生徒指導の場面を「成長の好機」と捉え、自己決定を促す指導により内面を言語化させ、自力での問題解決を体験させる。
- 3つの視点（下の表）から個人目標を設定し、定期的に振り返る。

自分と向き合う力	自分を高める力	他者とつながる力
じっくり	ぐんぐん	にこにこ
自制心、忍耐力、レジリエンス（回復力）など	意欲・向上心、自信・自尊感情、楽観性など	コミュニケーション力、共感性、社交性・協調性など

ここがポイント！

- 認知能力と非認知能力は関連しながら身に付いていくため、指定校以外の学校においても、児童生徒にどのような力を育成したいのか、その力はどの場面で育まれるのかななどを、学校全体で共通理解を図り、自校の教育活動を見直し・点検しましょう。

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」

R5（1年目）の主な取組

- 支援事業連絡会議の開催と管内中学校の通級指導に係る情報交換
- 通級指導担当教員を対象とした授業研究会の実施
- 通級指導の理解促進に係る職員研修の実施
- 通級指導実施校の調査

R6（2年目）の主な取組

- 行政区を越えた通級による巡回指導を実施する。
- 支援事業連絡会議の開催と管内中学校の通級指導に係る情報交換（通級指導実施校担当者間の情報交換を含む）を行う。
- 巡回通級指導教室は以下のような環境で行う。
（例） 落ち着いた教室環境、「自立活動」に必要な教材・教具、通級する生徒の情報（個別の指導計画等）、担任との引継ぎノート等

ここがポイント！

- ・学齢期の切れ目ない支援体制が図れるよう、指定校以外の学校でも校内教育支援委員会を定期的に実施し、市町村教委の教育支援委員会との連携に努めることが大切です。特に、小学校で通級指導を受けていた児童が中学校進学を見据え、どのような学びの場が適切か、保護者の思いなども踏まえた支援に努めましょう。